



豊岡市立総合健康ゾーン健康増進施設

ヒアリング実施日時:2018年2月8日(木) 13:00-14:30

ヒアリング実施者:大阪産業大学 佐藤真治

ヒアリング対象者:支配人 国定和司

施設住所:〒668-0046 兵庫県豊岡市立野町6-30

1. 施設の概要

2010年4月に開設した市立総合健康ゾーン内の健康増進施設。愛称は、「ウェルストーク豊岡」。指定管理者は株式会社コナミ&ライフ。健康づくりを支援するスポーツクラブ機能に加えて、豊岡市の事業を受託して、精力的に特定保健指導、介護予防事業などをおこなっている。スタッフとして健康運動指導士に加えて、常勤で理学療法士、作業療法士、管理栄養士、看護師を雇用していることが特長。

【ヒアリング結果】

- ① 施設のタイプはどのタイプですか 民間のフィットネスクラブ
- ② 会員(登録者)数は何人くらいですか 2000人程度
- ③ 利用者の年齢構成は 20歳未満(10%)、20代(20%) 30-40代(20%)、50代(20%)、60歳以上(30%)

2. 体力測定について

【ヒアリング結果】

- ① 身長、体重、皮脂厚などの測定を実施していますか 希望者のみ実施
- ② 身長、体重、皮脂厚などの測定の実施頻度はどのくらいですか 随時
- ③ 全身持久力測定を実施していますか 希望者のみ実施
- ④ 全身持久力測定の実施頻度はどのくらいですか 随時
- ⑤ その他の体力測定を実施していますか 希望者のみ実施
- ⑥ その他の体力測定の実施頻度はどのくらいですか 定期的に実施
- ⑦ 指定運動療法施設ですか いいえ

3. 運動プログラムについて

【ヒアリング結果】

- ① 施設として運動プログラムを作成・提供していますか 作成している
- ② 運動プログラム作成の根拠としているガイドラインなどがあれば教えてください ない
- ③ 個人別に運動プログラムを作成・提供していますか 作成している
- ④ 個人別の運動プログラム作成の根拠としている資料は? 体力測定や問診の結果
- ⑤ 安全対策のマニュアルはありますか ある
- ⑥ 事故が発生した時のための訓練は実施していますか 年に2度以上実施している
- ⑦ 監視型運動プログラムを実施していますか 実施していない
- ⑧ プログラム毎のエネルギー消費量や強度などの情報や効果を明示していますか? 明示している
- ⑨ 処方箋や運動指導記録を保存していますか 10年以上保存
- ⑩ 処方箋や運動指導記録はどのような方法で保存していますか 電子媒体で保存している
- ⑪ 傷害や事故の記録を保存していますか 半永久的に保存している
- ⑫ 傷害や事故の記録はどのような方法で保存していますか 電子媒体で保存している
- ⑬ プログラムの効果について健診結果等を用いて評価していますか 評価している
- ⑭ プログラムの評価をプログラムの改善等に活用していますか 大いに活用している
- ⑮ プログラムの評価に関する記録を保存していますか 10年以上保存している

健康増進施設の見学および職員へのヒアリング・意見交換①

⑩ プログラムの評価の記録はどのような方法で保存していますか 電子媒体で保存している

健康増進施設の見学および職員へのヒアリング・意見交換①

4. 運動型健康増進施設認定制度の課題に関する質問

【ヒアリング結果】

- ① 運動型健康増進施設として十分に活動できていると感じますか わからない
- ② 運動型健康増進施設認定制度は「国民の健康づくりの推進」に貢献できていると感じますか ほとんど貢献できていない
- ③ 運動型健康増進施設を運営するにあたっての課題はどのようなものですか わからない

5. 施設の社会貢献や学術貢献に関する質問

【ヒアリング結果】

- ① 自治体や企業との連携事業を行っていますか 自治体と行っている 年100件以上
- ② 自治体や企業との連携事業を行っている場合は、その概要をお教えてください 豊岡市と連携して、積極的に特定保健事業、介護予防事業、運動指導士派遣事業を実施している。スタッフとして、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、保健師（看護師）、健康運動指導士を抱えているので、リクエストは多い。ただし、採算は合わない。
- ③ 施設のどなたかが日本健康運動指導士会や都道府県の支部の役員や事務局として会の運営をサポートしていますか 全くサポートしていない
- ④ 施設の常勤スタッフのどなたかが日本健康運動指導士会や都道府県の支部以外の「国民の健康づくりの推進」に関連のある組織や団体の役員や事務局として組織や団体の運営をサポートしていますか 全くサポートしていない
- ⑤ 施設のどなたかが学会発表や論文発表など、学術的な活動に参加していますか 時々している
- ⑥ 学術的な活動として、外部の研究機関との連携やデータの提供をしていますか 全くしていない

6. 健康増進施設に関する課題や希望

・最も大きな課題は、一般の人に周知されていないこと。豊岡市民は補助申請件数なども多く、健康への関心は高い方だと思うが、健康増進施設について問い合わせをいただいたことはない。結果として、我々が認定を取得するインセンティブが働かない。

・ただでさえ忙しいのに、認定を取得したら、益々仕事が増える。

・健康増進施設がどのような人をターゲットにしているのか？が見えない。

・豊岡市は面積が広く人口密度が非常に低い。フィットネスクラブの数も限られているので、遠方から通う会員が非常に多い。潜在的な健康増進施設のニーズはあると思われる。

7. 所感

豊岡市は、兵庫県の日本海側に位置した第三次産業（農業、漁業）を中心としたまちである。一方で、医療過疎のまちでもあり、市民の健康づくりへの意識は高い。その豊岡市において、運動型健康増進施設の名前はほとんど誰も知らないという印象であった。人口減少・高齢化が進行するのは、地方からであろう。その地方で運動型健康増進施設の認知度を高めていくことは、非常に重要な課題である。

